



2017年3月期 連結決算説明資料

見通しに関する注意事項

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づくものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約あるいは保証するものではありません。

※資料内の会計期間の表記は“F”を用いております。2017年3月期は“16F”となります。

2017年5月

EIZO株式会社 (6737)

連結損益計算書

(百万円)

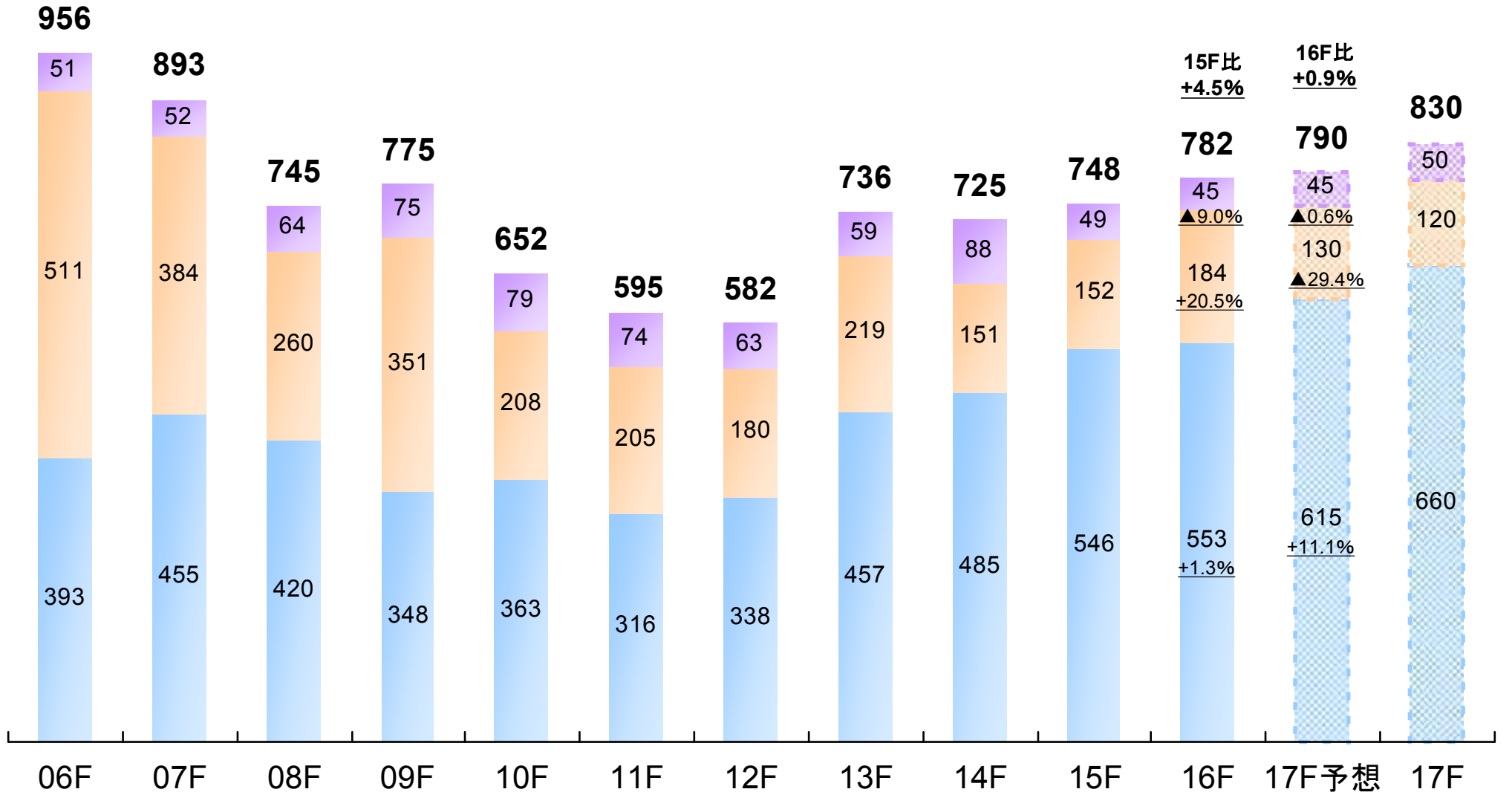
	15F		16F		前期比 増減額	17F予想		前期比 増減額
	金額	売上高比 (%)	金額	売上高比 (%)		金額	売上高比 (%)	
売上高	74,878	100.0	78,284	100.0	+3,405	79,000	100.0	+715
売上原価	52,883	70.6	53,921	68.9	+1,038	53,800	68.1	▲121
売上総利益	21,995	29.4	24,362	31.1	+2,367	25,200	31.9	+837
販売費及び 一般管理費	16,914	22.6	17,329	22.1	+415	18,100	22.9	+770
営業利益	5,081	6.8	7,033	9.0	+1,952	7,100	9.0	+66
営業外損益	617	0.8	72	0.1	▲545	400	0.5	+327
経常利益	5,698	7.6	7,105	9.1	+1,406	7,500	9.5	+394
税金等調整前 当期純利益	5,639	7.5	7,105	9.1	+1,466	7,500	9.5	+394
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,202	5.6	5,661	7.2	+1,459	5,700	7.2	+38
為替レート: USD	120.16円		108.34円		▲11.82	112.00円		+3.66
為替レート: EUR	132.60円		118.74円		▲13.86	115.00円		▲3.74

(参考) 為替感応度(為替相場1円の変動(円高)により、営業利益に与える年間影響額) : USD プラス90百万円、EUR マイナス160百万円

連結売上高推移

(億円)

■ 映像表示システム ■ アミューズメント用モニター ■ その他



・12Fに売上高の区分変更を行い、12F以降はグラフィックスボードや各種周辺機器等の売上高を「その他」から「映像表示システム」に含めて集計しております。11F以前の売上高は変更前の数値となっております。

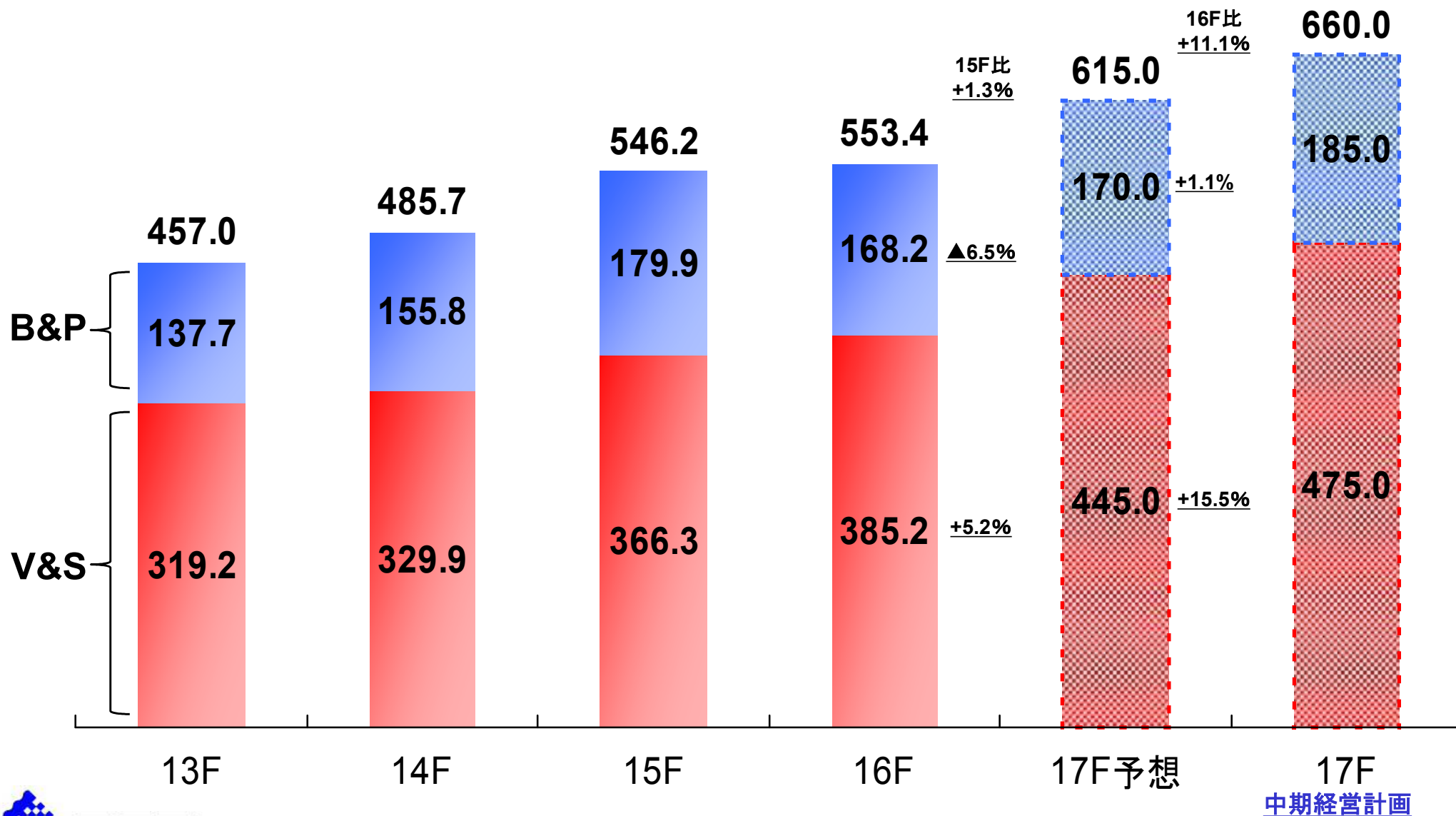
中期経営計画



連結売上高推移：映像表示システム - 合計 -

(億円)

■ V&S市場 ■ B&P市場

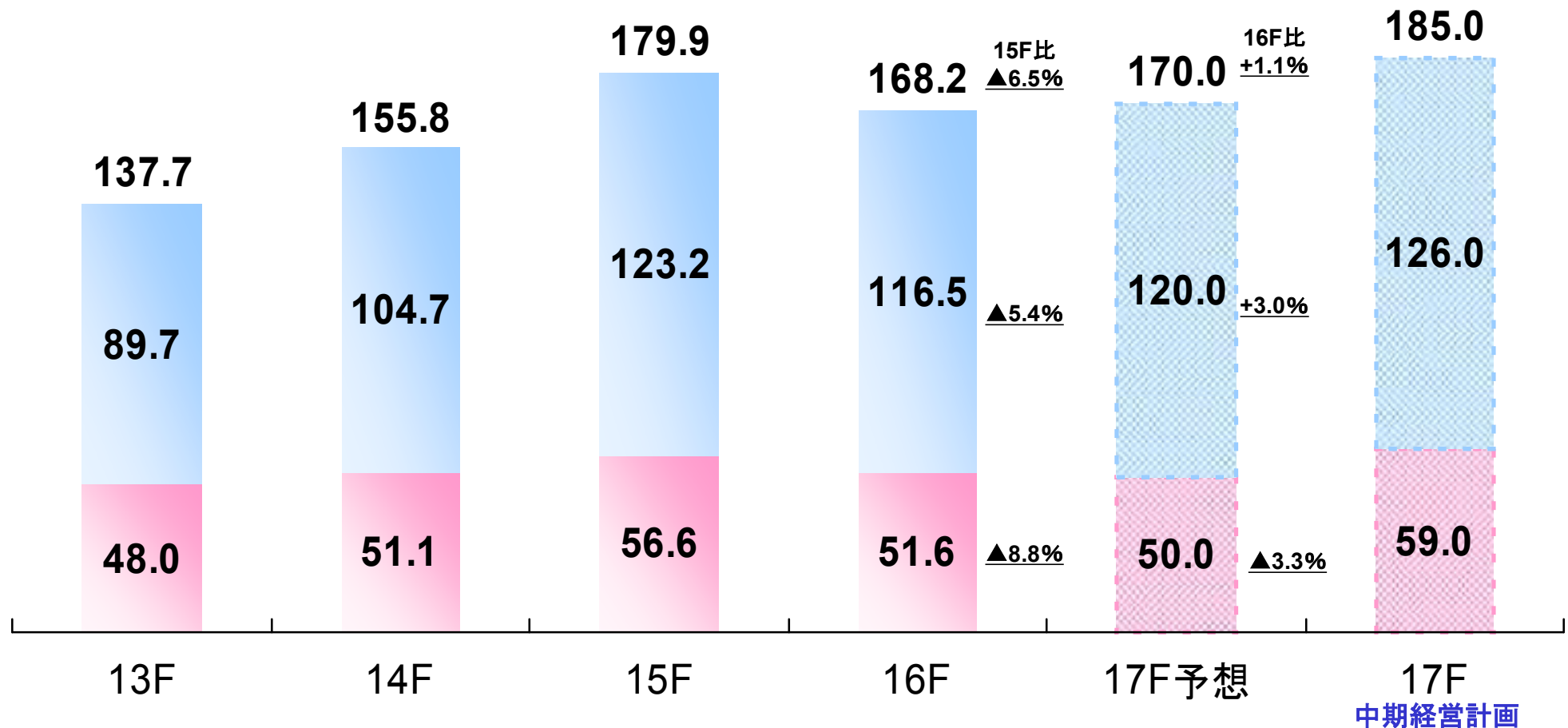


連結売上高推移：映像表示システム - B&P市場 -

(億円)

■ 国内 ■ 海外

- ・海外では、フレームレスモニターの販売が引き続き好調に推移しており、販売数量ベースでは前期比で増加した。一方で円高の影響により、売上高は前期比で▲5.4%の減収となった。
- ・国内では、販売単価の高い27インチ以上の大型モニターの販売が増加した。一方で、法人向け及びコンシューマ向けの販売が伸び悩み、新機種への投入により売上が大きく伸びた前期と比較し、▲8.8%の減収となった。

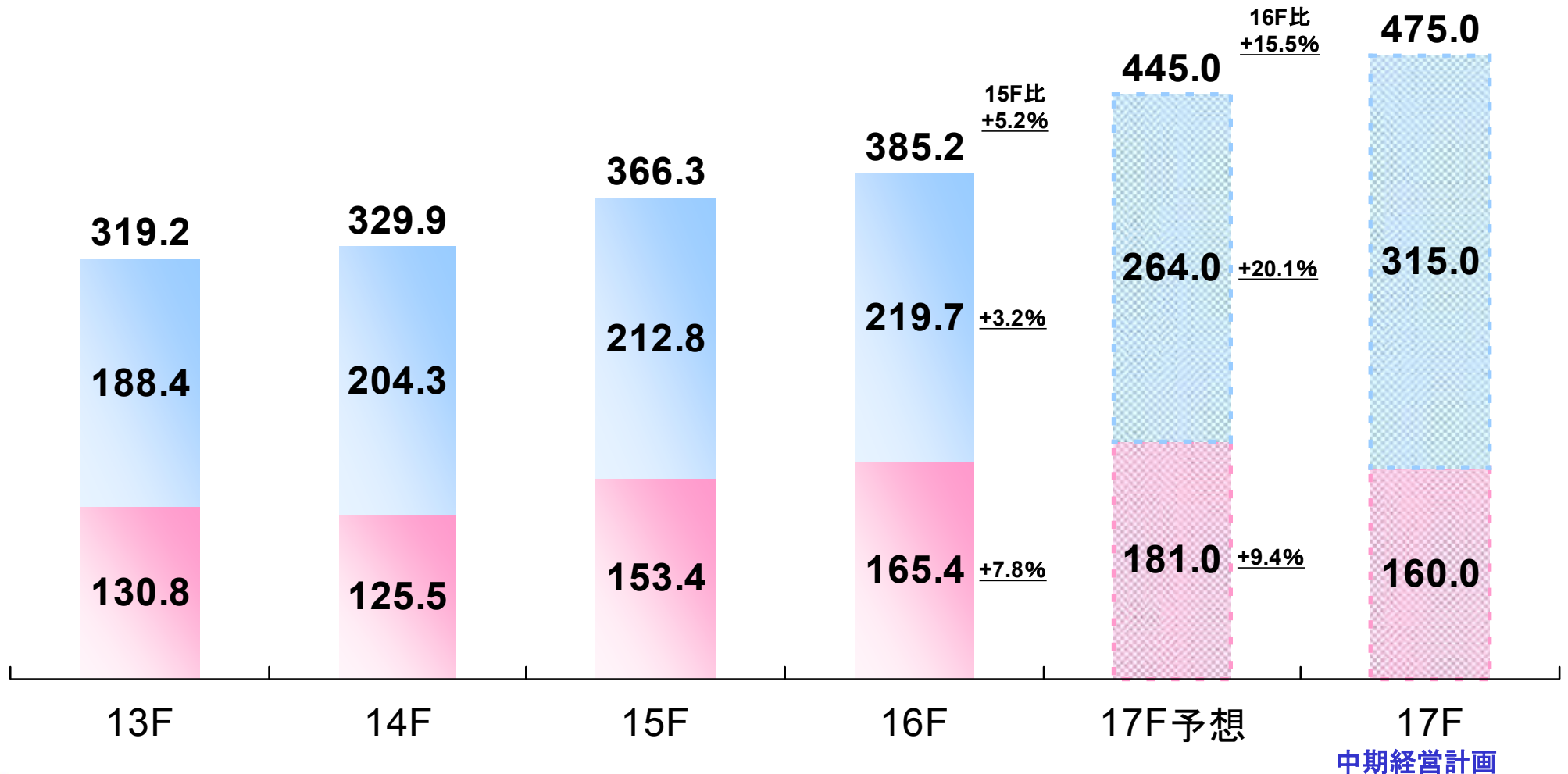


連結売上高推移:映像表示システム - V&S市場 -

・V&S:ヘルスケア、クリエイティブワーク及びインダストリーで構成されており、それぞれの売上高推移はP6~P8参照

(億円)

■ 国内 ■ 海外

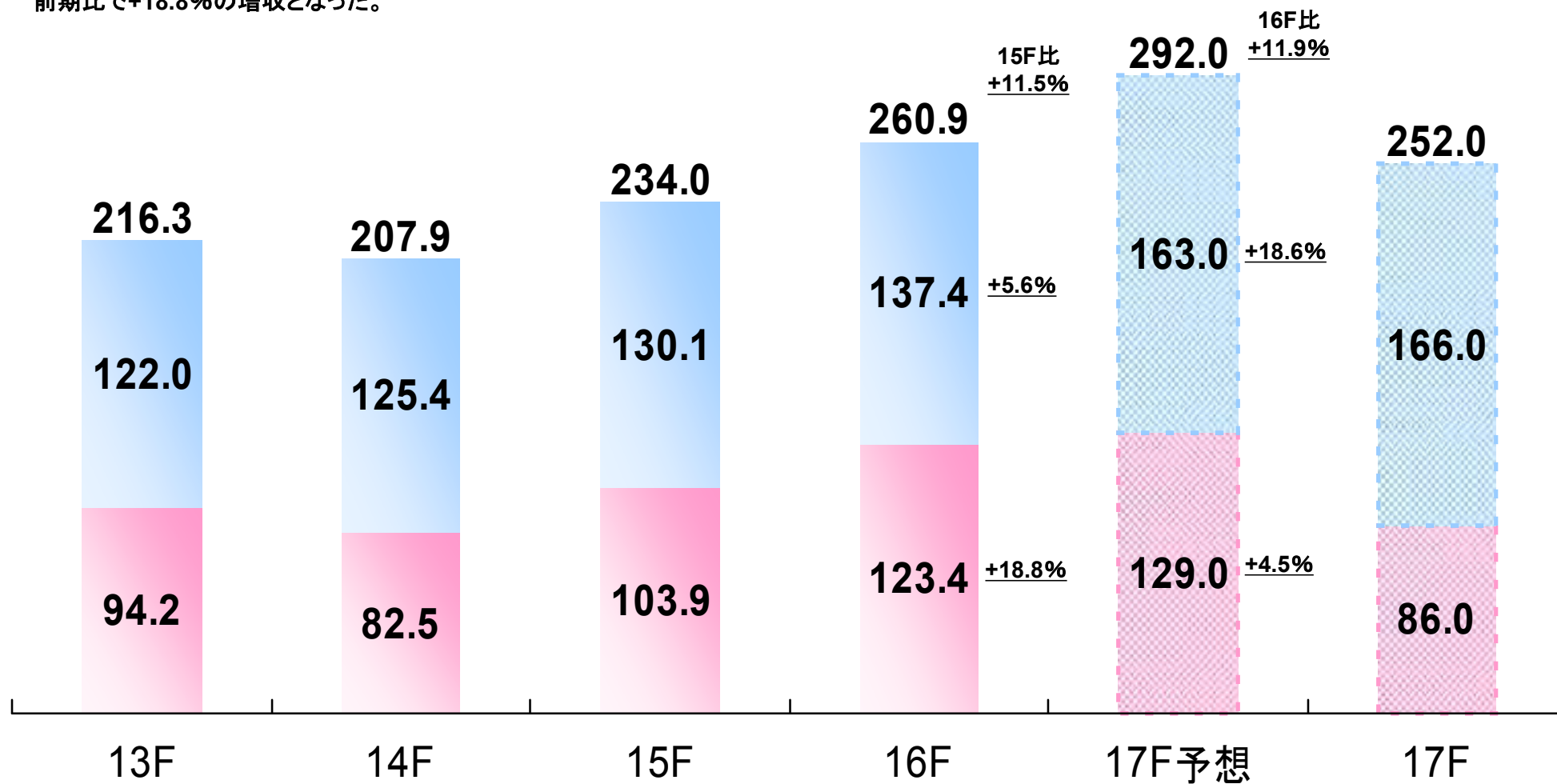


連結売上高推移：V&S市場 ヘルスケア

(億円)

■ 国内 ■ 海外

- ・海外では、診断用途向けモニターの販売が米国及び欧州で増加した。加えて、手術室向けモニターやシステム商品及び内視鏡向けモニターの売上が増加し、円高の影響を受けたものの、前期比で+5.6%の増収となった。
- ・国内では、2015年10月に買収したインテグレーションビジネスや2016年7月に買収した内視鏡用モニターの販売が売上高増加に貢献したことにより、前期比で+18.8%の増収となった。



中期経営計画

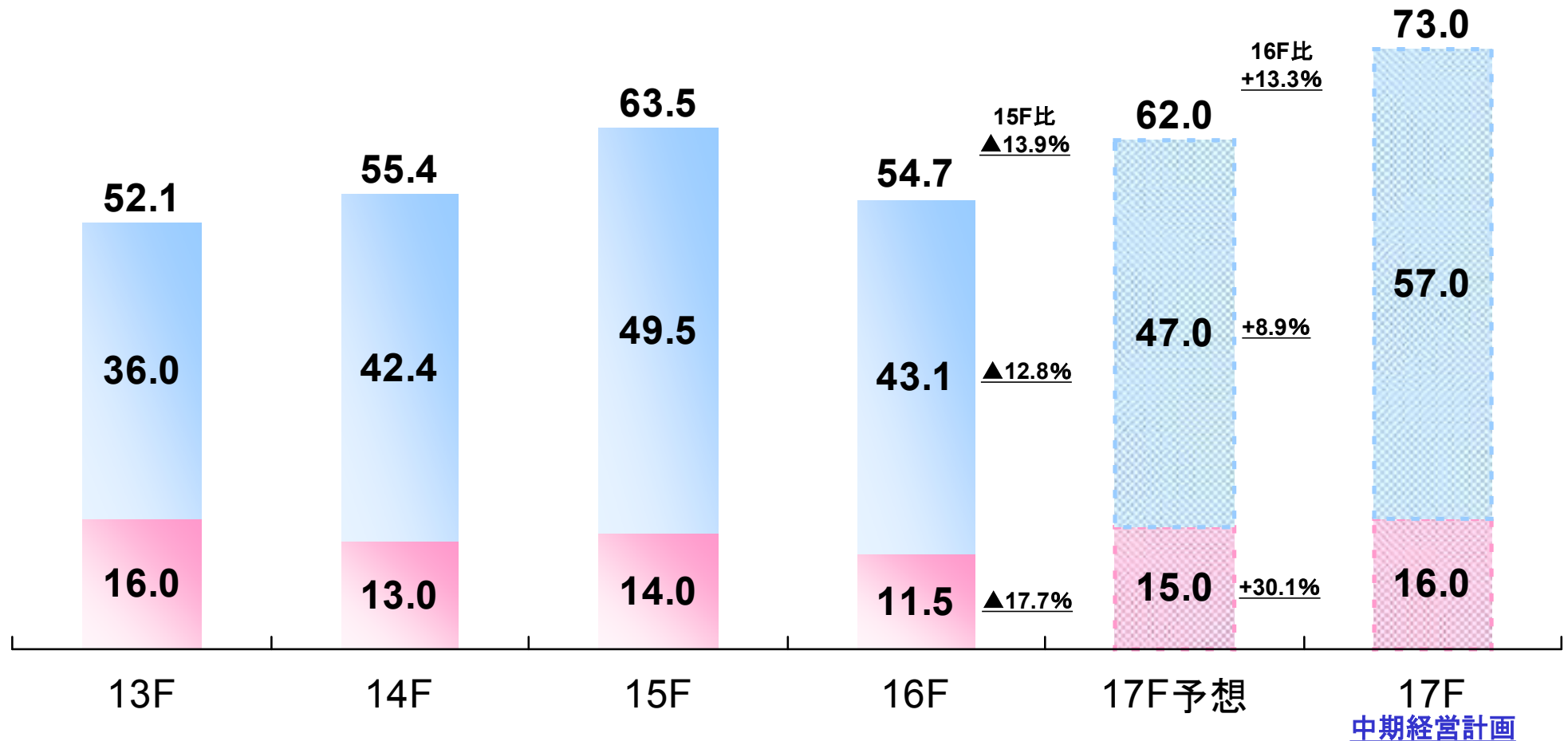
連結売上高推移: V&S市場 クリエイティブワーク

(億円)

・海外では、4Kモニターが引き続き堅調に推移した。一方で、前年同期に大型の案件があり、また円高の影響も受けたこと等により、売上高は前期比で▲12.8%の減収となった。

■ 国内 ■ 海外

・国内ではプロフェッショナル用途の販売が堅調に推移したものの、エントリー向けモデルの販売が減少したことで前期比で▲17.7%の減収となった。



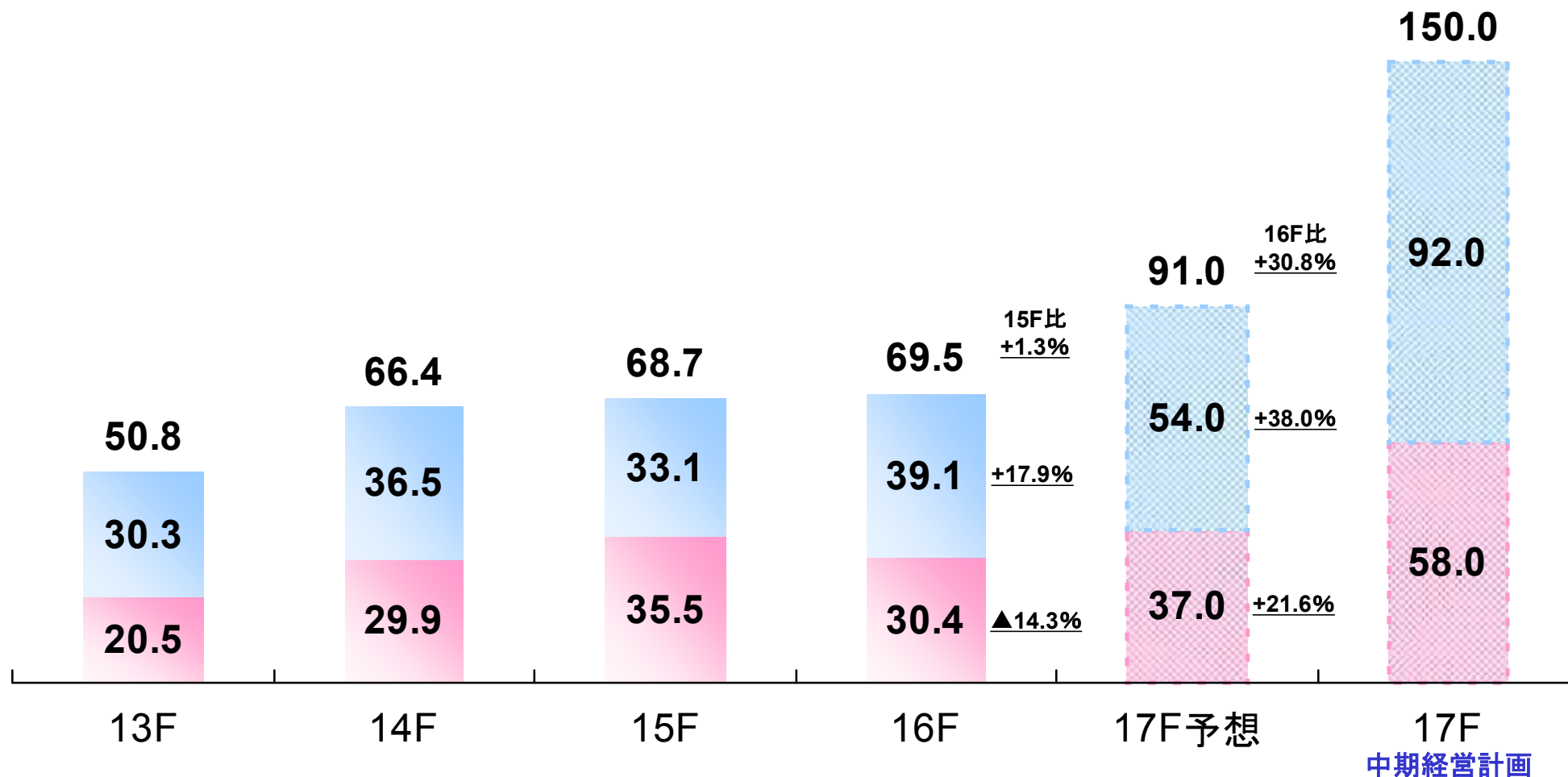
連結売上高推移：V&S市場 インダストリー

(億円)

■ 国内 ■ 海外

- ・海外では、欧州においてATC(*)用途及び監視用途のモニターの販売が大きく増加し、売上高は前期比で+17.9%増収となった。
- ・国内では、ATC用途のモニターで売上高が増加したものの、前年に大型の案件があったこと等から、売上高は前期比で▲14.3%の減収となった。

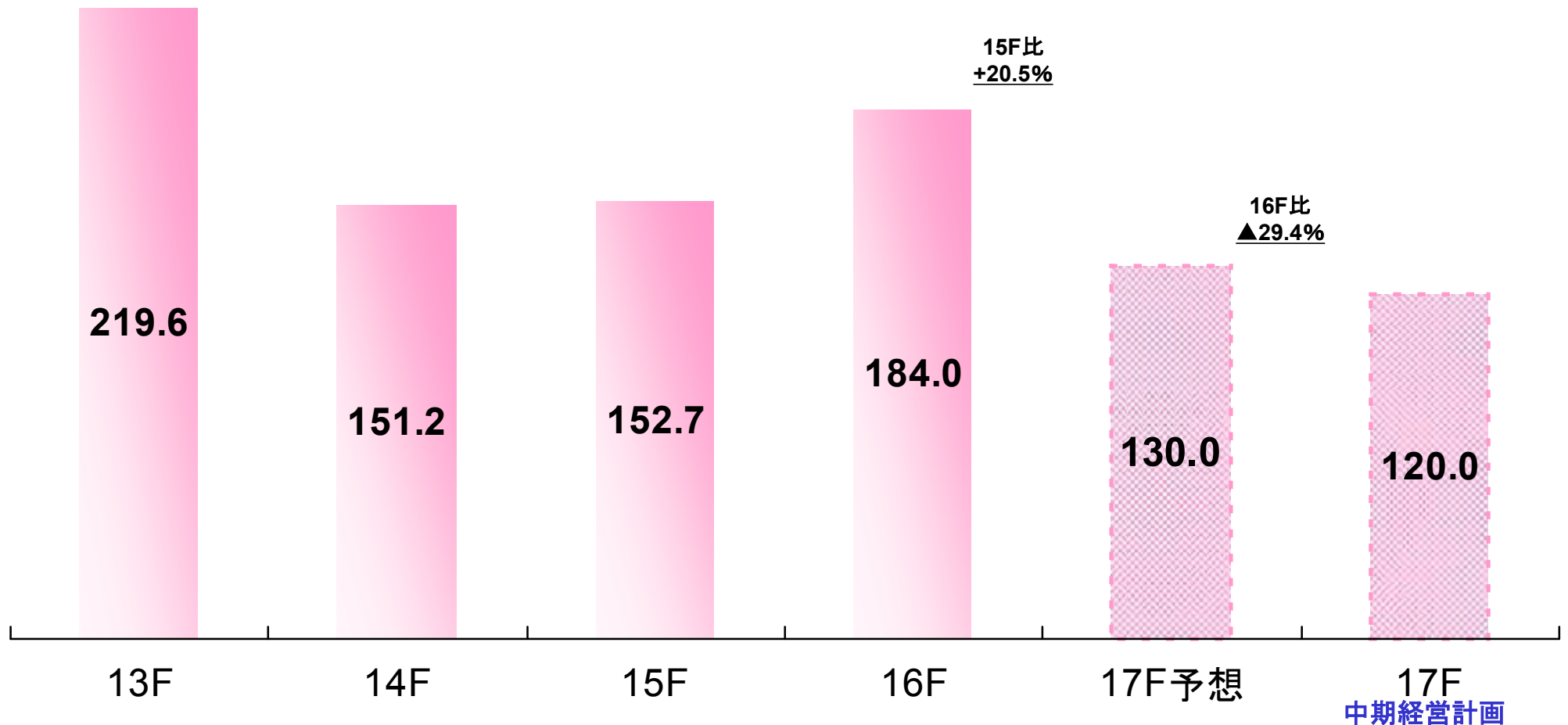
*ATC: Air Traffic Control



連結売上高推移:アミューズメント用モニター

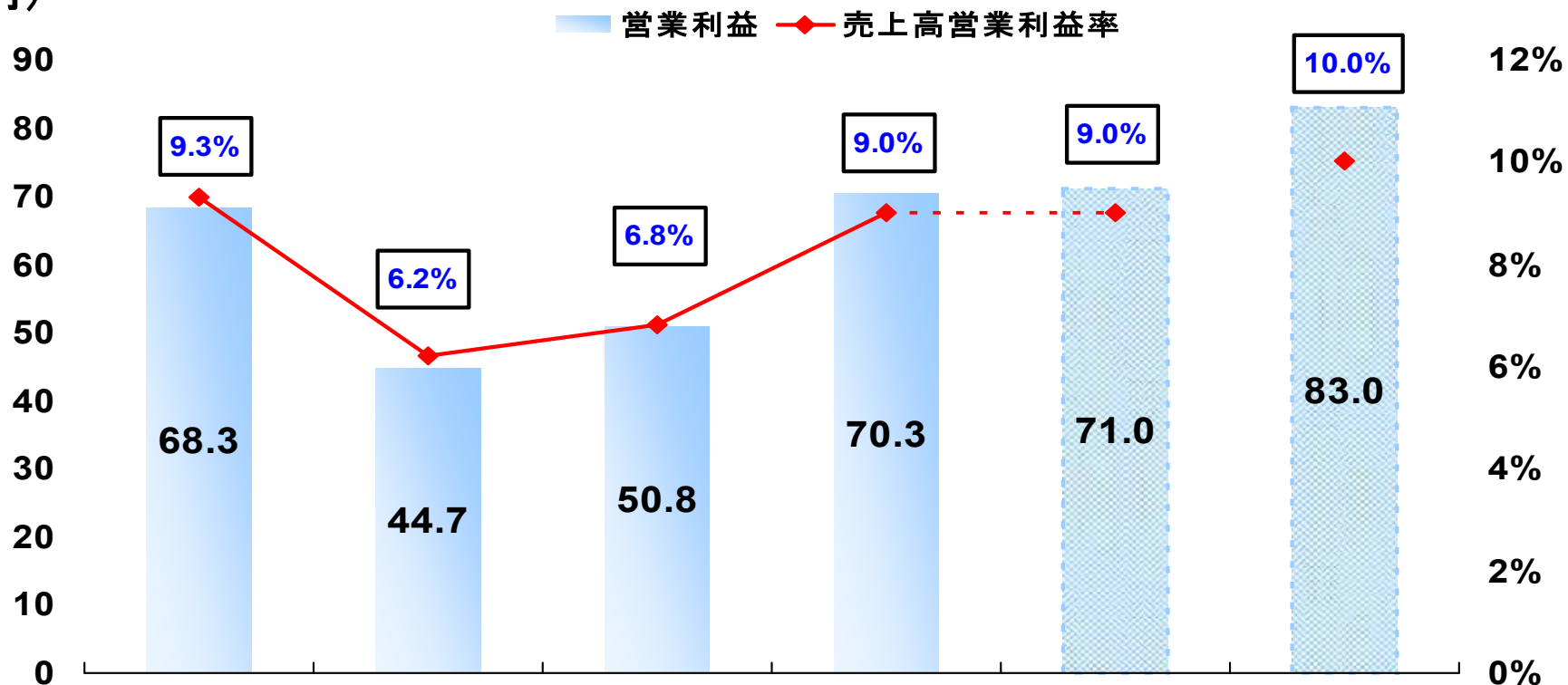
(億円)

・通常の入替需要に加えて、検定時と異なる可能性のある遊技機の撤去による入替需要に対して資材調達や生産面において柔軟な供給対応ができたことにより、売上高は前期比で+20.5%の増収となった。



営業利益推移

(億円)



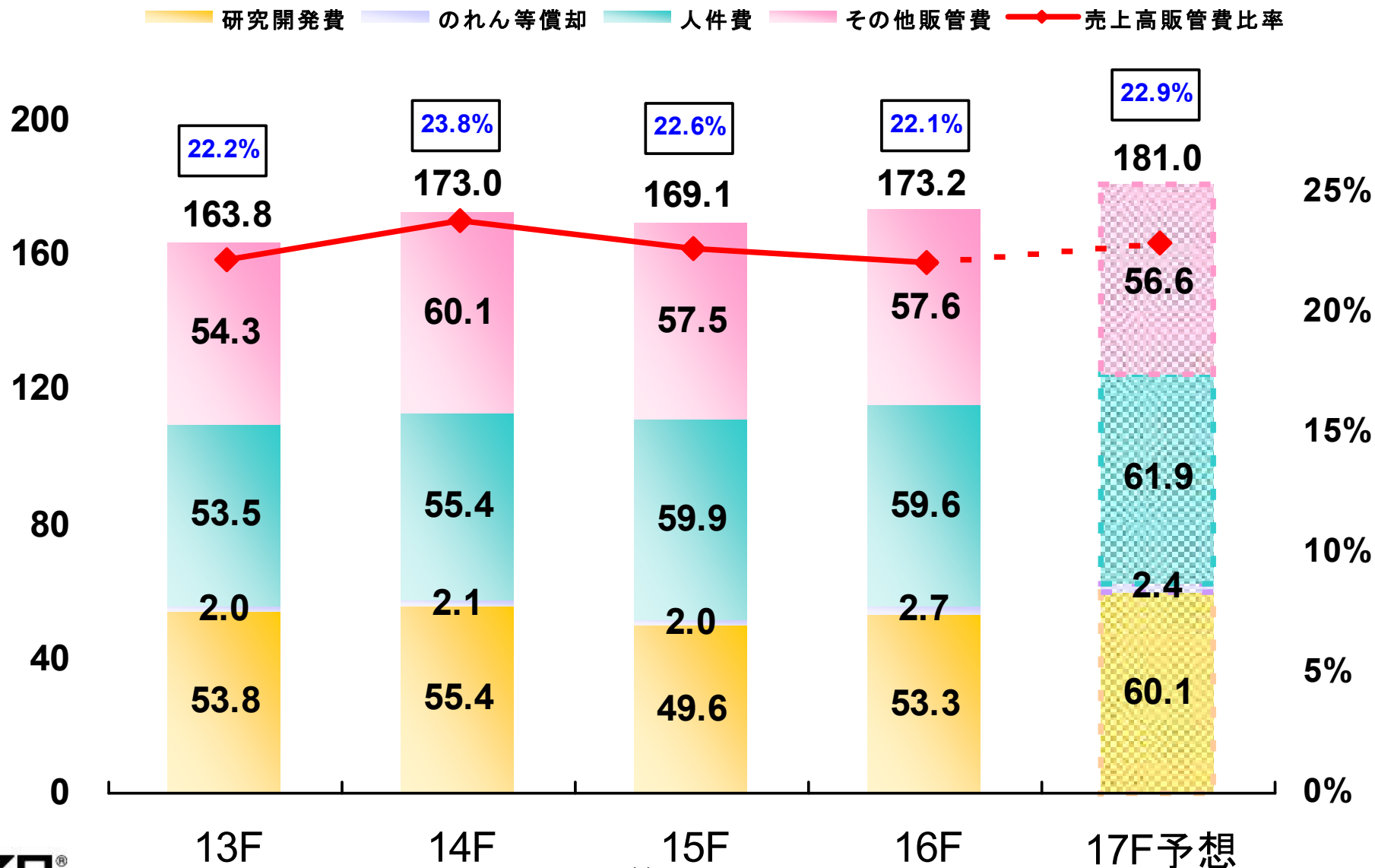
	13F	14F	15F	16F
ROA (%)	9.3	4.7	5.4	6.5
ROE (%)	8.3	4.5	5.3	6.9
DOE (%)	1.8	1.7	1.9	2.1
EBITDA (億円)	97.0	67.2	77.5	94.7

ROA(総資産経常利益率): 経常利益 ÷ 総資産(期首・期末平均) ROE(自己資本当期純利益率): 当期純利益 ÷ 自己資本(期首・期末平均)
 DOE(自己資本配当率): 年間配当金総額 ÷ 自己資本(期首・期末平均) EBITDA: 税引前当期純利益+支払利息+減価償却費+のれん等償却費+減損損失

販売費及び一般管理費推移

(億円)

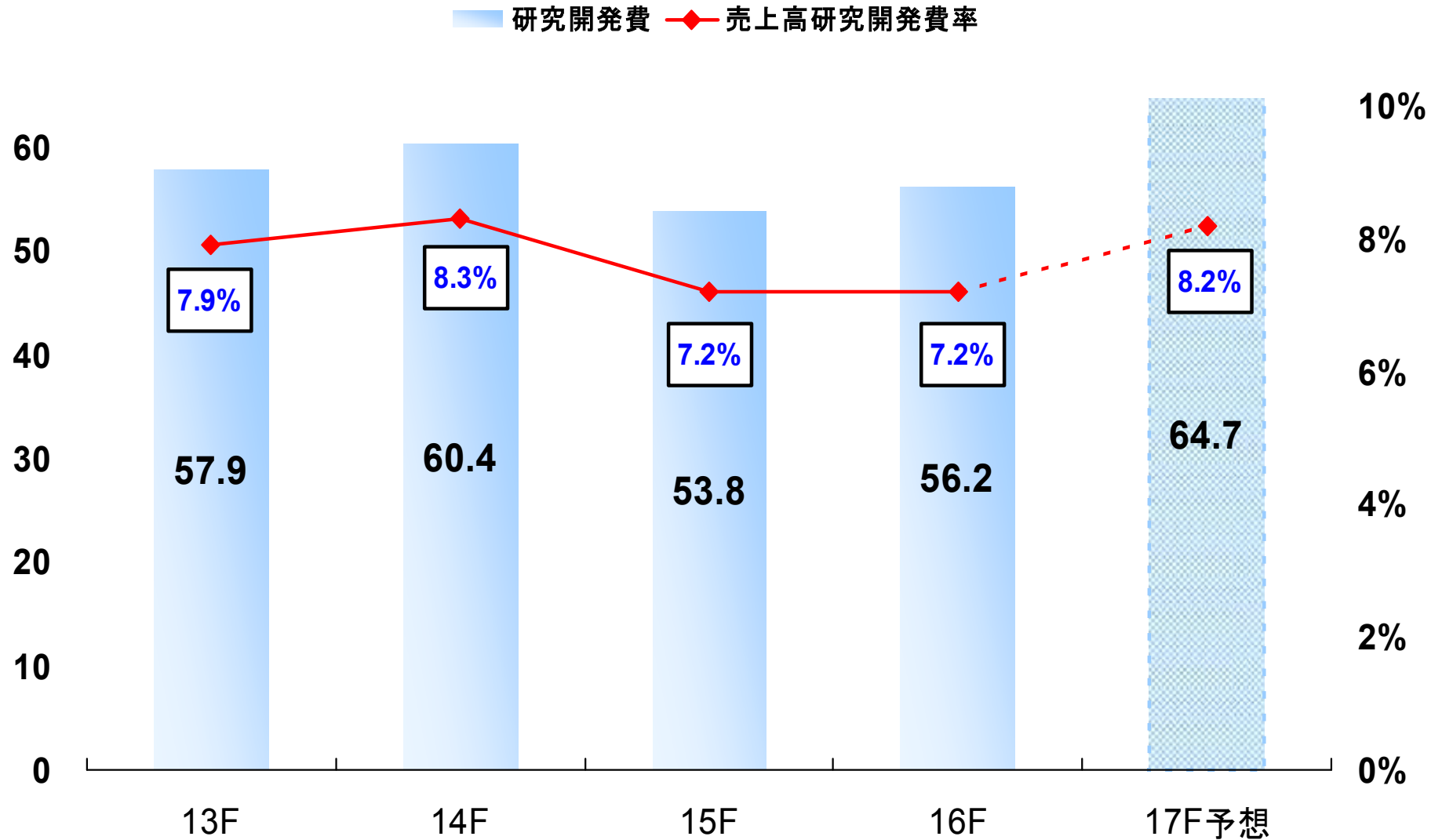
・アミューズメント事業の構造改革の実施やリーン化推進により固定費削減を推進した。一方で、V&S市場向けの研究開発費や海外の販売体制の強化に加えて、買収した内視鏡用モニター事業が加わったことにより、前期比で+2.5%の増加となった。



研究開発費推移

(億円)

・アミューズメント市場の環境の変化に対応した構造改革により研究開発費の削減を図ったが、一方で、医用画像モニターや内視鏡用モニター及びMIL規格対応製品等のV&S市場向けの研究開発投資を積極的に行ったことにより、前期比で増加となった。



※研究開発費は製造費用計上分を含む



設備投資推移

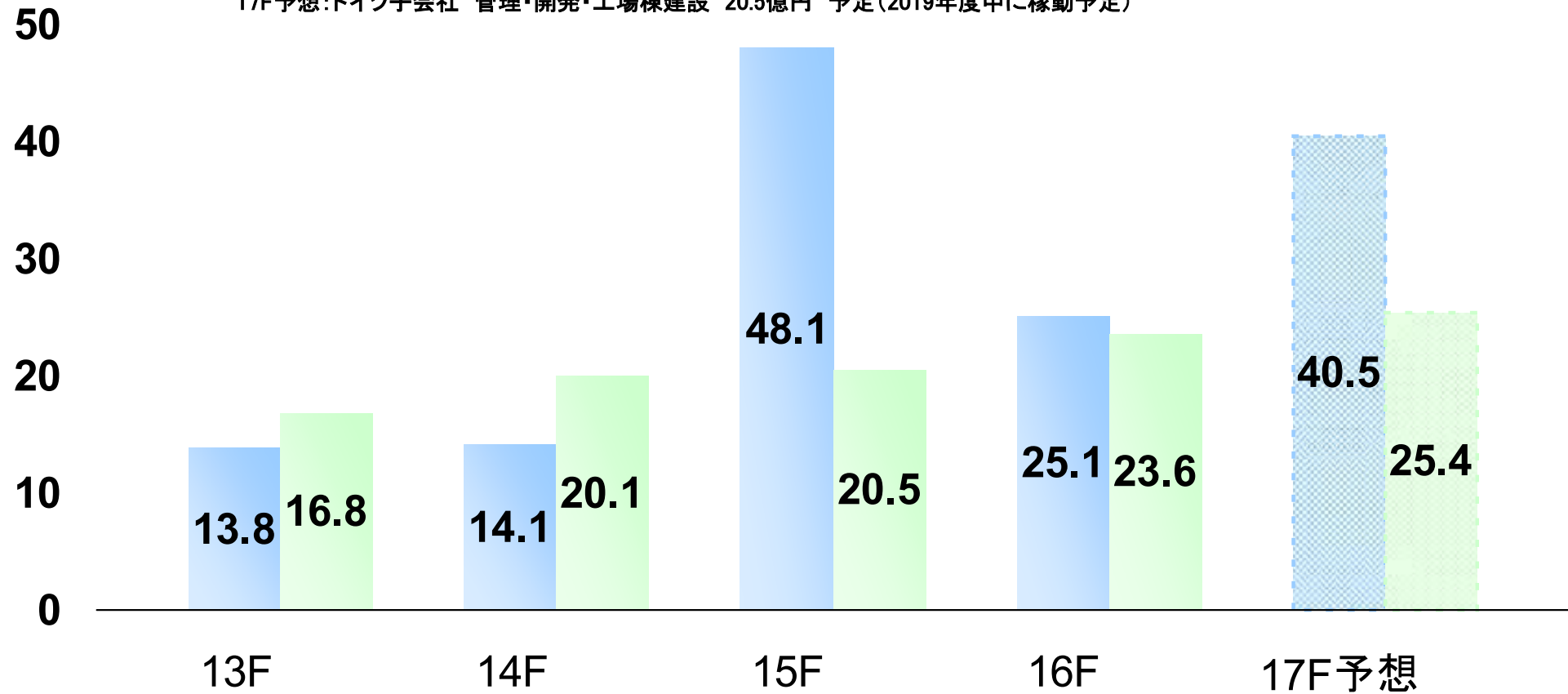
(億円)

■ 設備投資(金型含む) ■ 減価償却費(金型含む)

15F:本社工場棟建設 31.3億円

16F:MIL規格対応試験評価棟建設・試験評価設備導入 6.8億円

17F予想:ドイツ子会社 管理・開発・工場棟建設 20.5億円 予定(2019年度中に稼働予定)



連結貸借対照表

(百万円)

	16年3月末 (前期末)		17年3月末 (当期末)		前期末比
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	増減額
現金及び預金	7,221	6.9	6,294	5.5	▲926
受取手形及び売掛金	17,138	16.4	16,973	14.7	▲164
たな卸資産	23,911	22.8	24,414	21.2	+503
その他	16,501	15.7	21,652	18.8	+5,150 ※1
流動資産	64,772	61.8	69,334	60.2	+4,561
有形固定資産	11,001	10.5	11,771	10.2	+769
その他	29,018	27.7	34,054	29.6	+5,036 ※2
固定資産	40,019	38.2	45,826	39.8	+5,806
資産計	104,792	100.0	115,160	100.0	+10,367
買掛金	5,994	5.7	7,694	6.7	+1,700
その他	11,487	11.0	11,570	10.0	+82
流動負債	17,482	16.7	19,264	16.7	+1,782
固定負債	9,298	8.9	10,614	9.2	+1,316
純資産	78,011	74.4	85,280	74.1	+7,268
負債・純資産計	104,792	100.0	115,160	100.0	+10,367

※1 譲渡性預金残高の増加

※2 投資有価証券の評価額の増加

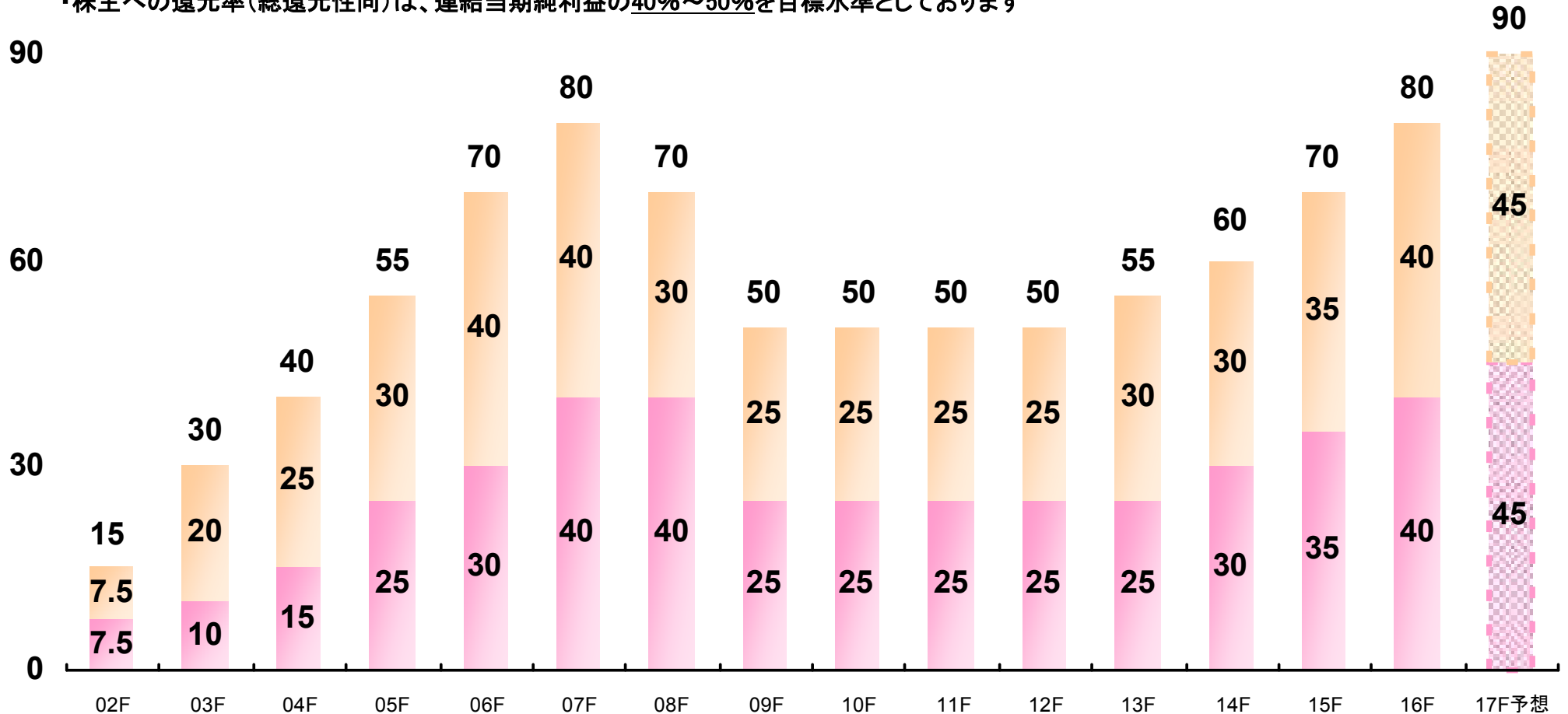
株主還元

(円/株)

●株主還元方針

- ・当社は、会社の成長に応じた安定的な配当を継続的に行うことを基本方針としており、今後の事業拡大のための設備や研究開発投資に必要となる内部資金の確保、財務状況及び将来の業績等を総合的に勘案し、配当や自己株式取得等の株主還元を実施してまいります
- ・株主への還元率(総還元性向)は、連結当期純利益の40%~50%を目標水準としております

■ 期末配当
■ 中間配当



配当性向	11.3%	9.5%	14.4%	17.5%	20.6%	41.0%	229.7%	22.6%	31.5%	67.5%	66.7%	21.6%	38.5%	35.5%	30.1%	33.7%
還元率	11.3%	9.5%	14.4%	17.5%	20.6%	41.0%	375.2%	22.6%	31.5%	168.0%	66.7%	21.6%	38.5%	35.5%	30.1%	33.7%

・配当性向は連結ベース 17F配当は予想

・自己株買入 08F/996百万円、11F/1,661百万円



EIZO株式会社

〒924 - 8566 石川県白山市下柏野町153番地

○お問合せ 担当：IR室 有生(ありせ)
電話番号：076-275-4121

www.eizo.co.jp